

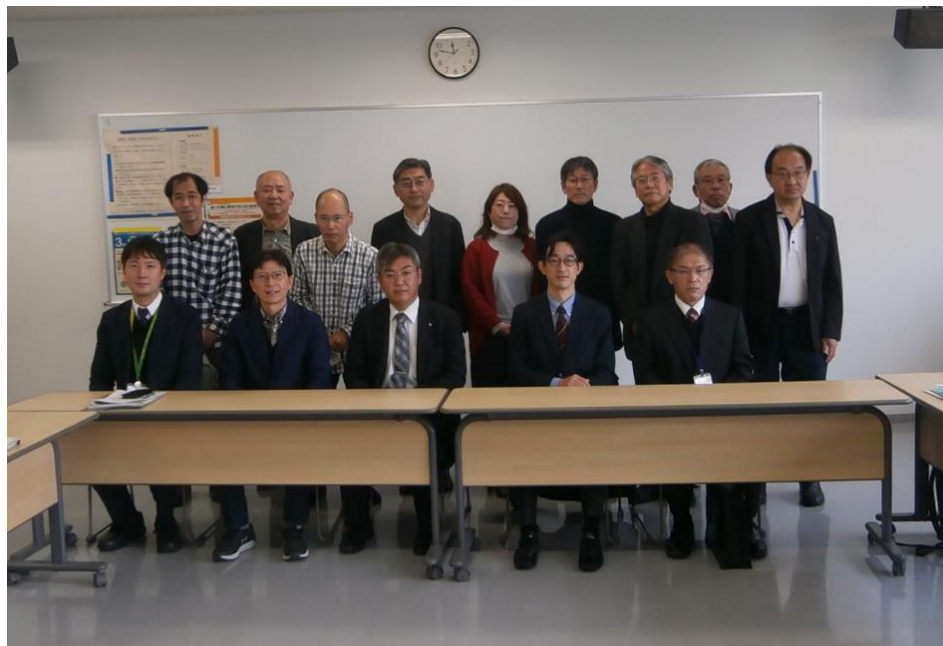
祝 発行20年!

現場でトーク 開催!

20211212

●関連記事 2P~5P

●撮影 編集長 20211212



☆☆活動報告☆☆

12月14日 ROBA 12月例会・理事会 WEB 会議
12月17日 羽水高校 PBL 報告会 (林博参加)
1月11日 ROBA 1月例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

1月28日(金)~29日(土)
LRT 都市サミット長崎 2022
1月30日(日) 全国路面電車サミット長崎
2月3日(木) えちぜん鉄道活性化連携協議会
2月8日(火) ROBA 2月例会・理事会
3月8日(火) ROBA 3月例会・理事会

善光の一言 30

富山県、サバイバル会員、善光です。

新しい年を迎えました。新年こそは平穩に・・・と
思っておりましたが、新々・・・新型コロナウイルス、
オミクロン君が大流行。今年もサバイバルな一年になり
そうな気配です。インフルエンザと同程度、などの声も
ありますが、基本対策をして過ごしましょうね。

さて「サバイバル」の意味はご存知ですよね?① 困難な状況を乗り越えて進む事② 鯖(さば)
が偉そうに、または強そうな態度をとる事みなさん、②は知っていましたか? 千葉県の銚子電鉄
では「鯖威張る(サバイバル)カレー」が販売されていますよ~!

ところで変異ウイルスは、どこまで続くのでしょうか? ギリシャ文字も後半に突入し、使い終
わった後の名前は“星座”になると言う噂も。ギリシャ文字を使い終わる前に収束してほしいもの
です。

サバイバル!



現場でトーク 参加報告

1. 開催日時 2021年12月12日(日) 10:00~11:30 AOSSA 7階707号室



2. 参加者

福井県並行在来線課 水江友哉主任、
福井県交通まちづくり課 市橋章地域鉄道参事、森下和久総括主任
福井県並行在来線準備株式会社 小川俊昭社長、阿部義和総務企画課主任
ROBA (敬称略) 内田、畑、林博、清水、脇本、門、林照、玉井、松原、鳥居 (記)

3. 議事内容

- (1) 福井県並行在来線経営計画の概要について資料配布および説明
- (2) 福井県の公共交通政策とまちづくりについて資料配布および説明
- (3) 質疑応答

ROBA から並行在来線について主に下記の質問や要望が出された

1. 貨物調整金の考え方について
2. パターンダイヤ化ならびに他社線との連携について
3. 福井金沢間での快速運行の可能性について
4. 越美北線の取り扱いについて (越前花堂での乗務員交代の必要性)
5. 新駅の測量・設計を前倒しで実施し新会社発足直後着工の可能性について。

4. 感想

先方からの説明で1時間以上費やしており質疑応答の時間が少し足りなかった感はあるが、久しぶりに ROBA のメンバー多数が一同に会して意見交換がなされ有意義な時間となった。

朝夕にそれぞれ2往復計画されている敦賀・福井間の快速は、特急存続断念の代替案でもあり、新会社の命運がかかっていると言っても過言ではない。今後新たな情報が随時発表されるので、その動向に注目していきたい。

現場でトーク感想報告

玉井 秀和

久しぶり AOSSA に行きました。1階部分のテナントがなく、もめけの殻状態になっていました。新幹線の玄関口で駅ビルの相当するビルが全く、恥ずかしい状態であり新幹線以前に早急な対応が望まれます。

次にトークの内容ですが、先方からの説明で時間の大半が費やされてしまい、次回開催の必要性を感じました。今、JR 西日本は駅無人化を推進する立場で大変危惧しています。先日も春江駅が営業終了しました。新会社に営業引継ぎしたら地域実情に応じて駅員配置計画は検討するとの回答ありました。期待しています。えちぜん鉄道はかなり有人駅があり 参考にしていただければ幸いです。

他にもえちぜん鉄道では駅舎新築もあり、利用環境整備にも力をいれたいと思います。大変有意義な集まりでした。時間的なこともあります、何回か集まりを持ちたいです。

令和3年12月

在来線の県との協議について

先日の県との協議については、余りにも時間がない中で作業の質と量をこなさなければならないことに、心配をしております。

ロバの会のこれまでの取り組みは、LRTを中心とする短距離間の交通機関の仕組みだったように思われ、在来線のような中長距離でしかも都市間交通の場合にはどのような仕組みが必要となるのか、研究すべき課題が多々あると思われてなりません。

今回提起されていたまちづくり手法への取り組みについても、在来線は都市間交通の役割に重点が置かれ、しかも利便性と快適さ及び速達性が求められる観点から、まちづくりとの整合性をどの様に調和させるのかを、慎重に交通整理して取り組むべきと思っています。

また、これまでの国鉄時代からの駅や駅舎、駅前広場等、今日の交通体系に馴染むような駅の在り方が求められていると思われてなりません。

在来線を三セク化する今、これらの問題を一挙に解決するいいチャンスと捉えて、地域住民とともに駅の在り方そのものを考え、駅舎をまちの中心に配徹してそれを繋ぐ線として各駅を位置付けてはどうかと考えます。

例えば、駅舎をまちづくりのためのメインセンターとして位置づけ、駅前広場は他の公共交通との結節点としたり、パークアンドライドのための駐車場を設置したり、待ち時間をメインセンターでの交流やふれあいができる場としてはどうかと考えます。

在来線の浅水駅や丸岡駅、あるいは田んぼの真ん中にある駅を見て、あまりにも前時代のメトロを見ている気がしてならず、貧弱な駅舎や駅前広場では利用する気にもならないのが実態ではないでしょうか。

以上私がこれまでのJRをみて感じていたことを報告します。

勝山市長山町

門 善孝

福井県主催の「現場でトーク」に参加して

(はたみゆき)

R3.12/12 (日)に「現場でトーク※」が開催されました。ROBA から 10 名、福井県並行在来線課から 1 名、福井県交通まちづくり課から 2 名、福井県並行在来線準備(株)から 2 名、合計 15 名が参加しました。

現場トークとは？

県民の皆さまの声を聴く機会を増やし、新たな施策に関する意見や夢のある提案を広くいただき、施策に反映していくため、職員が自治会や公民館、企業などに説明に出向く「現場でトーク」を実施しています。

(福井県のホームページより引用)

89 のテーマから説明を聞きたいものを選び、開催希望日の 1 か月前を目途に広報広聴課に申込みます。

県内 NPO 団体に対しては、広報広聴課から通知で案内が届きました。

2 ふくいの高速交通・観光・文化・スポーツ			
番号	テーマ	内容	担当
2-1	北陸新幹線 ～令和6年春の福井・敦賀開業と 新大阪までの早期全線整備に向けて～	令和6年春に開業予定の金沢・敦賀間の整備効果や工事進捗状況、敦賀・新大阪間の開業までのスケジュール、時間短縮効果などを説明します。	新幹線建設推進課
2-2	北陸新幹線福井・敦賀開業を 盛り上げよう！	北陸新幹線福井・敦賀開業に向けて、「FIRST291 ～北陸新幹線開業プラン～」をもとに、首都圏への誘客PRや県内での受入準備についての施策を説明します。	新幹線開業課
2-3	並行在来線 ～開業に向けて準備を進めています～	北陸新幹線の福井・敦賀開業により、北陸本線は第3セクターの鉄道会社に運営・運行が引き継がれます。令和6年春の開業に向けた今後のスケジュールなどを紹介します。	並行在来線課
2-4	高速道路 ～県内の高速道路の整備状況と 整備効果について～	中部縦貫自動車道大野池道路の整備状況や企業立地の促進・観光客の増加など県内の高速道路の整備効果について説明します。	高規格道路課
2-5	福井県の観光の今、これから	巻籠や歴史あふれるブランドの発信、観光地づくり、国内外での誘客プロモーションの展開など、県が進めている観光施策を説明します。	観光誘客課
2-6	もっと身近に気楽に音楽を 楽しもう New	誰もが発表できる「まちなかステージ」や県内各地で開催する「まちかどミニコンサート」、音楽を地元の人への仲間づくり支援など、音楽を活用したまちづくりの取組みを紹介します。	文化課
2-7	福井らしい景観について考えよう ～畜産みや風景の保存、活用の 取組み～	ふくいの伝統的民家、福井ふるさと音楽などの福井らしい景観やそれらを保存・活用するための県の取組みや地域や団体の活動について紹介します。	文化課
2-8	一栗谷朝倉氏遺跡の価値と魅力	全国で唯一、戦国期の城下町跡がそのまま残る特別史跡「一栗谷朝倉氏遺跡」の価値や魅力を説明するとともに、将来にわたって継承する取組みを紹介します。	文化課
2-9	スポーツで福井を盛り上げよう	スポーツを通じた交流人口の増加や県内スポーツチームの応援、フルマラソンの開催など、スポーツを活かした地域活性化に向けた取組みを紹介します。	スポーツ課

並行在来線に関する説明（概要）

【経営の基本事項】

- 基本理念：輸送の安全・安定、地域に密着した県民鉄道の一新、まちづくりへの協力など
※地域密着、まちづくりがポイント！JRの広域経営とは異なり、県民鉄道となることで、交通まちづくりの視点ができる。

【運行計画】

- 通勤通学時間帯の増便で利用しやすいダイヤ編成
- 運行本数は 126 本/日で、朝夕の時間帯に快速列車を運行
- 新幹線や地域鉄道等との接続利便性の確保とパターンダイヤ化
- JR 越美北線の福井駅直通運転の実施（越前花堂駅で運転手交代となる事への対応検討）

【運賃水準】

- 運賃水準は近隣先行県の水準や利用者負担と行政負担のバランスを考慮して設定
- 通勤定期及び定期外は 1.15 倍(1～5 年目)～ 1.20 倍 (6 年目～11 年目) を予定
- 通学定期は 1.05 倍を予定

【利用促進（経営改善策）】

- 利用しやすいダイヤ編成、観光イベント列車運行、利用しやすい環境づくり、駅へのアクセス向上、新駅設置
- 駅を中心とした都市機能集約や居住誘導、既存駅のモデルチェンジ、駅周辺のにぎわいづくり
- 地域鉄道等との連携、交通事業者等との連携
- 会社名の公募、マイレール意識の向上、サポーターズクラブ等の設立

先行3セク会社の概要

	経営区間	輸送密度	経常収支	運行本数	運賃水準 (JR 比) 開業後5年 → 6~11年目
IR いしかわ 鉄道	18km 5 駅	約 15,000 人/日	+358 百万円	117 本 うち快速 5 本	普通 1.14 → 1.19 通学 1.00 → 1.05 通勤 1.14 → 1.19
あいの風 とやま鉄道	99km 20 駅	約 7,700 人/日	▲174 百万円	149 本 うち快速 5 本	普通 1.12 → 1.19 通学 1.03 → 1.05 通勤 1.12 → 1.19
えちごトキ めき鉄道	98km 21 駅	約 4,200 人/日	▲707 百万円	46 本(ひすい) 54 本 (はねうま)	開業5年間はJR水準、 6年目以降は経営状況 をみて検討(最大1.3)
しなの鉄道	102km 27 駅	約 1,400 人/日	+152 百万円	123 本(しなの) 78 本 (北しなの)	普通 1.24 通学 1.61 通勤 1.49
道南いさり び鉄道	38km 12 駅	約 6,000 人/日	▲177 百万円	38 本	普通 1.31 通学 1.30 通勤 1.30
青い森鉄道	122km 27 駅	約 2,300 人/日	+131 百万円	93 本 うち快速 10 本	普通 1.38 通学 1.00 通勤 1.65
IGR いわて 銀河鉄道	82km 17 駅	約 2,800 人/日	▲89 百万円	84 本	普通 1.58 通学 1.65 通勤 1.82 ※三陸鉄道の水準
肥薩おれん じ鉄道	117km 28 駅	約 700 人/日	▲669 百万円	83 本 うち快速 8 本	普通 1.28 通学 1.27 通勤 1.29

新社名を募集しています ↓ ↓ ↓

採用者には
賞金
20万円

福井県の新しい鉄道会社に
名前をつけてください!
わかりやすい・親しみやすい・呼びやすい社名

社名募集

応募期間
令和3年 12月1日 → 令和4年 1月16日

令和6年春の北陸新幹線福井・敦賀開業に伴いJRから引き継ぐ
北〇本線(石川県境-敦賀駅間)を運営する新しい鉄道会社の社名を募集します。

地域に密着した「県民鉄道」に生まれ変わります!
・増便や快速列車の運行など、県民のみなさんが使いやすいダイヤにします!
・沿線市町や地域鉄道と連携したイベントなど、便利で美しい鉄道会社になります!
・駅を楽しく、みなさんが集う場所にもアルチェンジします!

応募方法
右記のQRコードから応募ください。
その他郵送からも応募いただけます。
※応募の場合は必ず届はがき(封筒)での応募となります。

福井県並行在来線準備株式会社

感想

県の職員の方々、新会社の方々、そのほか関係者の方々が、福井県の鉄道について色々な議論や検討をされている事を知り、有意義な時間を過ごしました。ありがとうございました。

同時に、ROBA 設立の頃は夜中まで議論したり、資料を作ったり、公共交通はまちづくりにとって本当に重要だという、あの頃を思い出しました。

並行在来線が本格運行するまでには、もう少し時間はありますが、県民の私たちが口だけでなく、本気で利用する側になれるのか! 県民の力で鉄道を維持していけるのか! という漠然とした不安を感じましたが、まずは自分が利用する回数を増やすことから始めようと決意した次第です。

その前に、会社の若手同僚と新社名募集に応募することにしました。

皆さんも是非、応募してください。

羽水高校「プロジェクト型学習」2年生最終報告会に参加

林 博

羽水高校「プロジェクト型学習」(PBL)も、私がアドバイザーとして参加してはや2年たち、最終報告会が12月17日(金)に開かれ、参加してきました。

7月に行われた中間報告会でのアドバイスなどを参考に、さらに詳しく取り組み、アンケートや資料をグラフや図にして、わかりやすく発表していました。

林 博 印

1 これまでの経過と最終成果報告会の内容

2020年8月	1年生の課題解決型学習(PBL)の中で8つの領域に分かれ探究チームを結成
11月	フィールドワーク 各チームで行き先を選択し、フィールドワークを実施。フィールドワークでは、現地調査や見学、担当の方から現在の取り組みや、現状、課題などについてお話を伺いました。 (各企業様、自治体・組織様には大変お世話になりました。)
12月	中間報告会 外部アドバイザーの方々にご助言をいただきました。
2021年3月	課題設定報告会 フィールドワーク、中間報告会のご助言から各チーム調査活動を進め、社会の現状を踏まえて、課題を設定。その過程を報告。
↓	
2021年4月	2年生のPBLスタート。 設定した課題がまだ甘いチームも多く、課題をまずは見直しました。
↓	
2021年7月13日	中間報告会 課題を設定するにいたった過程、理由の説明、およびその解決に向けてチームごとに現在考えている解決案の提示。解決案に対するアドバイスをいただきました。
↓	
【今回 12月17日】	中間報告会后に、再度フィールドワークに出たり、地域や企業と連携したり、様々な具体的取り組みを進めてきました。それらの実践も踏まえ、これまでの2年近くに及ぶ探究活動のプロセスを発表します。

「◎交通」のテーマ領域は6チームあり、そのうち2チームが9月のカーフリーデーふくい2021に参加してくれ、取り組みのイメージが具体的でわかりやすくなっていたようです。発表内容の骨子は、

●公共交通の良さや利点を広めよう

公共交通と車が共存するにはどうしたらよいかに取り組む必要がある。さらに、公共交通の利用者を増やすために、「カーフリーデーふくい」のほか、福鉄・えち鉄の「駅メモ！」コラボキャンペーンを紹介した。<https://fukutetsu.jp/newsDetail.php?228>

●公共交通機関と車をうまく使い分けるには、どうすればよいか

使ってもらえる公共交通をめざす必要がある。そのために、バス停を改善して待ち時間を快適にする。事故にあいにくい、自由に使えることなどの良さを知ってもらう。

など、ROBAの活動の原点にまでたどり着いてくれたようで、大変うれしかった。今後が楽しみです。

福井城址の探検

12月のとある平日、福井県庁への用事のついでに、アプリを使って福井城址を旅してみました。と言っても、「ストリートミュージアム」というVRアプリで、江戸時代当時の姿を高精細VRで見て感動観光体験をするものです。

VRアプリをインストールすると、福井城址だけでなく全国の城を見ることができ、お城の説明と動画VRはどこにいても見ることができます。一方、現地のVRポイント行くと、その場所での静止画VRを（VRツアー）見ることができます。

動画VRと静止画VRの両方を体験してみました。どちらも「おおお！」と感動しました。これ、すごいアプリですよ。



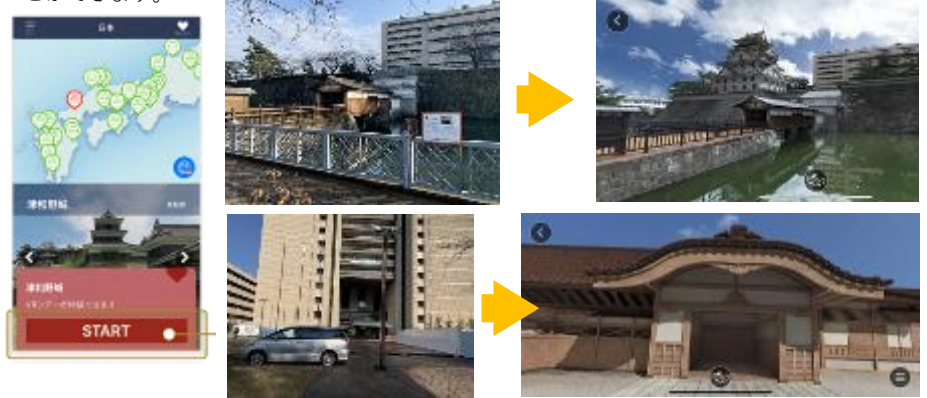
動画を
クリック!

アプリを始動させると、福井城の説明が書かれている。

動画のVRが始まります。

【VRツアー】

現地に行ってツアーをスタートさせ、VRポイント近づく「VR」の文字をクリックできるようになります。自分の目で「今」の風景を見てスマホを通して櫓や土塀を見ることができます。



作/漆崎 耕次

編集後記 ……編集委員より一言

内田（発行責任者）

「12月末から雪が降り心配しましたが、適度に晴れ間もありゆっくり休養ができた良い正月でした。内田個人的には…今年は9月に中部地区路面電車サミットを開催する予定でいます。」

林(変集長)

「もりたんバスは運行継続判定期間中です。毎日、用事がないのに乗車しています。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>